

ご寄付をありがとうございました！

多くの皆様より、こころ温まるご寄付をいただきました。この寄付金並びに寄附物品は、地域福祉活動を推進していくための事業に活用させていただきます。
《平成27年10月16日～平成28年3月15日 現在》

総 額 6,153,274円

一般寄付（敬称略・時系列順）

氏 名	金 額
東京防犯健全協力会	100,000
大庭 啓敬	50,000
浅草倶楽部 本多 良之	200,000
松葉小地区コミュニティ委員会	90,000
株式会社コナポンコーポレーション	50,000
特定非営利活動法人ふれあい会 野口五郎	200,000
均整倶楽部	15,000
みんなのひろば祭り収益金	
台東区民生委員児童委員協議会 寿地区担当	41,758
星野 明弘	200,000
和田 喜好	20,000
雷門地区民生委員児童委員協議会	20,000
河原 啓介	100,000
駒形どぜう江戸文化道場	300,000
日本基督教団 下谷教会	100,000
株式会社 舟和本店	50,000
台東区寿作品展示会実行委員会	240,000
ボーイスカウト台東七団カブスカウト隊	234,526
伊藤 一郎	20,298
花川戸はきだおれ市実行委員会	70,000
一般財団法人 凸版印刷三幸会	200,000

一般寄付（敬称略・時系列順）

氏 名	金 額
株式会社三栄ケアセンター 里 政夫	50,000
台東区私立幼稚園PTA連合会	230,096
JFEケミカル株式会社	54,340
JFEケミカル株式会社 社員一同	54,340
日蓮宗東京東部社会教化事業協会	30,000
東上野一丁目睦	21,000
日本ホーリネス教団 上野教会	15,000
解脱会浅草支部・御徒町支部青年部	20,000
在日本朝鮮台東青年商工会	200,000
東京都台東区歯科医師会	100,000
浅草防犯健全協力会	500,000
東京都宅地建物取引業協会台東区支部	344,000
株式会社マルキメモリアルトウエンティワン	35,000
人形供養実行委員会	
匿名（2名）	10,796
合 計	3,966,154

指定寄付（敬称略・時系列順）

氏 名	金 額
浅草仏教会	1,477,500
浅草観音大慈会	500,000
合 計	1,977,500

愛の募金箱（敬称略）

愛の募金箱（敬称略）	
設 置 場 所	
浅草葉業協同組合（11店舗）	
中村屋薬局 長生堂薬局 つくし薬局	
ケイ薬局 コトブキ永生堂薬局 伊東薬局	
蔵前薬局 あおい薬局 コーセイ浅草橋薬局	
中村薬局 ヴアラエティドラッグ東海林	
念珠堂 フレッシュストア中村	
パチンコサンシャイン コンビニエンスサカイヤ	
ーハそば パンプキンハウス 赤木屋	
東上野地区センター 北部区民事務所清川分室	
雷門地区センター 西部区民事務所	
北部区民事務所 入谷地区センター	
浅草橋地区センター 上野地区センター	
南部区民事務所 台東地区センター	
西部区民事務所谷中分室 浅草公会堂	
台東区社会福祉協議会事務局	
合 計	209,620

愛の募金箱は、区内協力店及び区民事務所・分室、地区センターなどに設け、ご協力をいただいています。



物品寄附（敬称略・時系列順）

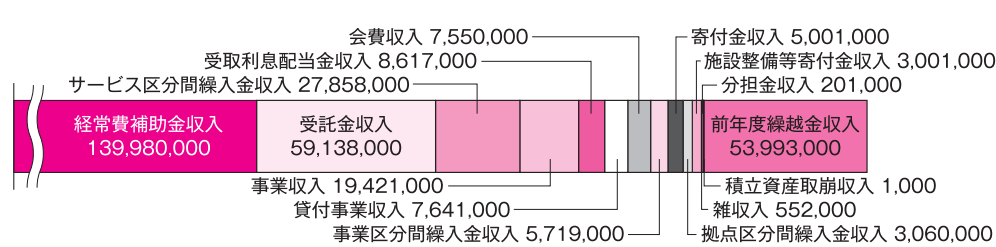
氏 名	品 名	
中央蔵遊会	ひざ掛け	5枚
	クッション	1個
野村不動産	カレンダー・手帳	
パートナーズ株式会社	卓上カレンダー	28本

氏 名	品 名	
日本電設工業株式会社	カレンダー・手帳	
	卓上カレンダー	164本
近畿日本ツーリスト	カレンダー・手帳	
株式会社	卓上カレンダー	39本

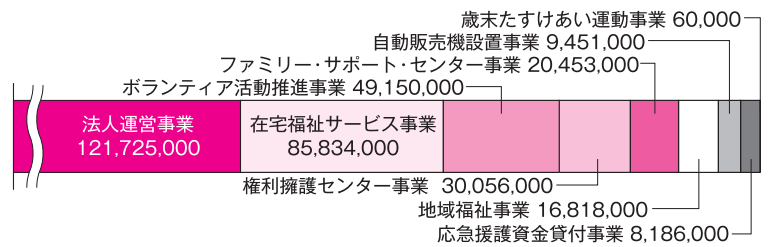
氏 名	品 名	
株式会社東芝社会貢献室	カレンダー・手帳	
	卓上カレンダー	57本
	尿とりパッド	15バック
匿名（2名）	カイロ	34セット
	バック・ポーチ	36個

平成28年度予算が決まりました

● 28年度歳入予算額 341,733千円



● 28年度歳出予算額 341,733千円



平成28年度事業計画基本方針

台東区社会福祉協議会は、地域福祉推進を組織の基本理念として位置づけ、地域住民の参加の下に、台東区や社会福祉事業者など幅広い地域福祉関係者と協力しながら事業を進めています。平成28年度も住民が主体的に行っている福祉活動への支援や、ボランティア活動の推進、福祉教育、まちづくり等、幅広く地域福祉の向上を目指した事業に取り組んでいきます。

I 基本方針

1. 法人運営

より多くの方に台東区社会福祉協議会を知っていただくため、キャラクター「はっぴい」を活用して地域の行事に参加するほか、各事業を通じて積極的にPRを行うなど地域に開かれた団体として活動します。

また、災害など緊急時への備えと年度間の財源調整を図るため、財政調整積立金を積み増し、財政基盤の強化を図り経営の自立性を確保します。

近年、多発しているコンピュータシステムへの攻撃に対しては、個人情報の流出やシステムの破壊を防ぐために、外部の攻撃から内部を保護するためのソフトを導入し、個人情報等のセキュリティを高めます。

2. 地域連携

事業の実施にあたっては、台東区、台東区町会連合会、民生委員・児童委員協議会、地域団体等との連携を図るとともに、それぞれの地域にあっては福祉サービスを提供する団体や社会会員等に対して積極的な参画を働きかけます。

3. ボランティア活動の推進及び中間支援施設の運営

個人や団体によるボランティア活動を推進するとともに、中間支援施設となる「台東ボランティア・地域活動サポートセンター」を設置し、ボランティア団体、NPO団体、地域団体等の活動を支援していきます。

4. 高齢者・障害者福祉

高齢者・障害者の生活実態に基づき、地域住民の参加による在宅福祉サービスの提供を促進し、日常生活の支援施策を充実させます。また独居や見守り、声かけが必要な高齢者・障害者へは、地域包括センター等関係機関と連携し、必要な支援を行っていきます。

5. 児童家庭福祉

乳幼児を育てる家庭やひとり親家庭などに対して、住民参加による育児支援サービスの充実、孤立化の防止や育児の不安を解消するための支援を通して、育児負担の軽減を図り、次世代を育む子どもたちの健全育成を目指します。

6. 権利擁護の推進

認知症高齢者や、精神・知的障害者等が、個人の尊厳と自主性が尊重され、地域で安心して生活が送れるよう、福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）、財産保全管理サービス、福祉サービスの苦情受付・法律相談、成年後見制度利用支援等の権利擁護に関する各事業やサービスを積極的に普及・啓発し、利用促進を図ります。そのため、社協の権利擁護センターとしての機能を充実していきます。

7. 地域活動の推進

介護予防、引きこもりの解消、地域での孤立化を防ぐため、誰もが住み慣れた地域の中で、安心して暮らしていけるよう地域サロンなど「つどいの場拠点」づくりを推進し、地域住民の自主的な参加・運営を促し支援していきます。

II 重点課題

1. 成年後見制度の推進

今後、認知症高齢者などの判断能力が十分でない方の権利を守り、支援を行う成年後見人の需要がますます高まってくることが予想されるなか、社協がこれまで培った地域福祉権利擁護事業の実績や地域ネットワークを十分に活用しつつ、区と共に成年後見制度の推進を図ります。

特に、成年後見制度の普及・啓発の重要性を考慮し、各種講座や無料相談会等を実施します。また市民後見人の育成研修を行い、市民後見人が適切に活動を行うための支援を行う等社協としての役割を担い、区と連携、協力し市民後見人の育成、支援を図ります。

2. 中間支援機能の充実

これまでのボランティアセンター事業に加え、「台東ボランティア・地域活動サポートセンター」の開設により、ボランティア団体やNPO等に向けた講座を新たに実施するとともに、団体の運営相談や経理・税務相談等の専門的な相談にも対応していきます。また、地域住民、民生委員・児童委員、ボランティア、地域活動団体、NPO団体等の相互のネットワークを充実し、地域内における連携を促進していきます。

3. 社協会員の加入促進

会員の加入促進は自主財源の確保とともに、社協や福祉活動に対する住民の理解を深める観点からも重要な役割を持っています。今年度は、会員の目印として、また、様々な方に台東社協を知っていただくため、新たに会員証シールを作成します。

今後も、地域福祉推進委員等のご協力をいただきながら、地域の活動を通じて会員の加入促進を図っていきます。